中学校 プログラムB「宇宙の広がり」展開例

内容 (「地球と宇宙」への興味付け)・・・ 太陽系と銀河系、宇宙の広がり

学習内容	観察の 記入事項について [] プラネタリウムで見られること ○生徒の活動 ・観察時のポイント
星座を探そう ・20時の川口の星空 ※日の入りが遅い時期は21時になることもあります	 [日の入りから20時までの空の移り変わり] ○当日見られる星座を探す 例)夏-夏の大三角、はくちょう、さそり 秋-夏の大三角、秋の四辺形、カシオペヤ 冬-冬の大三角、オリオン
太陽系を知ろう (5分) ・太陽系の惑星 天の川を見よう (10分)	[太陽系の惑星]○惑星の特徴を知る
・郊外で見られる星空・天の川番組「宇宙どこまであるの物語」	[郊外で見られる星空] ○郊外で見られる星空を観察し、天の川を探す ・天の川が星の集まりであることを知る ・天の川は銀河系を地球から見た姿であることを知る (提供: ESO)
(20分) ・月、太陽までの距離	[月、太陽までの距離] ・月までの距離を知り、人が歩く場合と光の場合にどのくらい時間がかかるかを知る ・太陽まで光の速さでどのくらいの時間がかかる
・太陽系の大きさ	かを知る [太陽系の大きさ] ・太陽系の大きさを知る
・銀河の大きさ	・
•銀河団	・銀河の入ささを知る [銀河団] ・銀河団は何個の銀河が集まっているのか知る
・さらに遠くの宇宙	[宇宙の大規模構造] ・宇宙の大規模構造を知る
(50分間)	